

大森東地区管内人口

| | | |
|-----|---|----------|
| 人口 | 男 | 10,234人 |
| | 女 | 9,203人 |
| | 計 | 19,437人 |
| 世帯数 | | 10,618世帯 |

(令和4年9月1日現在)

おもしろい地域情報



手をつなぐ5自治会

- 大森東自治会 (平林 敏夫 会長)
- 大森東四丁目自治会 (伊藤 音嗣 会長)
- 川端自治会 (平林 盛久 会長)
- 大森南自治会 (平林 茂 会長)
- 森ヶ崎自治会 (野口 多加志 会長)

発行：地域力推進大森東地区委員会 編集：地域情報紙「いっつわ」編集委員会

【編集委員長】 須山 芳明 (大森東四丁目自治会) 【副編集委員長】 野口 弘子 (大森南自治会) / 安藤 澄枝 (森ヶ崎自治会)
 【編集委員】 田中 文雄 (大森東自治会) / 野村 勝恵 (大森東自治会) / 伊藤 音嗣 (大森東四丁目自治会) / 鈴木 笑美 (川端自治会) / 福本 享子 (川端自治会) / 魚住 みさ子 (大森南自治会) / 佐藤 恵美子 (森ヶ崎自治会) 【事務局】 宮崎 さくら (大森東特別出張所)

大森東四丁目自治会 会長就任のご挨拶



大森東四丁目自治会会長 伊藤 音嗣
 この七月より、鳴島 繁藏会長のあとを受けて自治会会長に就任いたしました。

まだまだお元気でいらつしゃるので心の準備ができておりませんでした。他の副会長さん方の勤めもあり書面決議ではありませんが、総会で議決されお引き受けることになりました。

自治会では監査を数年、副会長もしておりましたが、大田区の青少年委員を十八年していた流れで令和元年より青少年対策大森東地区委員会の会長を受けており、大変なことは重々承知しております。バト

退任のご挨拶



前大森東地区自治会連合会会長・前大森東四丁目自治会会長 鳴島 繁藏
 平成二十一年、二十二年及び令和二年、三年の二度、地区自治会連合会会長を務めさせて頂きました。最初の二年

間は当地域が大きく変貌する期間でした。大森東特別出張所が地域の司令塔として新装開所し、隣接地に森ヶ崎交通公園が開設、子供達の道徳教育及び遊び場、高齢者のいこいの場所となり、また大森東避難橋が架け替えられ「見晴らしばし」として誕生、より活性化された環境に生まれ変わりました。さらに住民との交流を目的に「いっつのわふれあい祭り」イベントを企画、開催しました。多くの住民に参加して頂き

私自身会長として極めて充実した期間でした。二度目はコロナ感染が拡大している期間で、連合会活動もかなり制約されました。この様な環境の中、貴船堀水門の撤去により貴船堀橋が完成開通し、ふるさとの浜辺

ンタッチができるまで会員の皆様のご理解を賜り、お力をいただきましたようお願い申し上げます。

自治会活動・青少年対活動もコロナ禍で様々な活動が大打撃をうけております。事業活動の引継ぎが非常に困難な状況にあると思います。三年間のブランクをどう埋められるかが今後の勝負だと思っております。

再活動に向けて少しずつ前進していければ良いと思いますが、新活動になるのではないかと危惧することもあります。その時には新しいアイデアと同時に更なるご協力をいただけますようお願い申し上げます。

また今回の就任を機にこの地域情報紙の編集委員長を下ろさせていただきます。今後も「いっつのわ」、五自治会も大事に活動していきたいと思っております。宜しくお願

い致します。公園が良い見通しになりました。また貴船堀緑地に特別養護老人ホームの建設も決まりました。環境悪化の中ですが大森東地域は新しい町として着々と変わって参ります。長期のコロナ禍で地域全体が沈滞していますが、五自治会がさらに結束を強めこの難局を乗り越え地域の発展に寄与されることを期待致します。

なお私、七月二日付で大森東四丁目自治会会長を退任いたしました。役員婦人部の協力のもと十三年間会長を務めさせて頂きました。自治会運営及び活動について試行錯誤しながら諸行事(祭り、盆踊り、子ども会)等を通じ、会員ご家族皆様とのふれあい、協調そして何よりも安心、安全、事故のない町づくりを努めて参りました。会長を退任致しますが私自身、生まれ育った愛着のあるこの地域にこれからも微力ではありますが貢献してゆきたいと思っております。

会員皆様のご理解、暖かいご支援に感謝申し上げます。皆様のご健勝、ご家庭の安泰をお祈りし退任のご挨拶と致します。ありがとうございました。

いっつわ！ 健康ウォーキング & 魅力再発見マップ が完成しました！



令和四年二月、大田区と東邦大学の共同研究「人生100年を見据えた健康寿命延伸プロジェクト」のモデル地区に大森東地区が選定され、その二つの取り組みとしてマップを作成しました。

この間、自治会連合会、地域力推進大森東地区委員会を中心に、区や専門家、関係機関の協力をいただきながら進めてきました。地図には、子どもから大人までウォーキングを楽しんでいただける五つのコースを掲載しました。

裏面は、正しい歩き方のポイントや日頃から気をつけたい食習慣などの健康情報に加えて、地域の見どころ紹介や地域がしのばれるコラムなど、歩く楽しみが広がる内容となっております。

マップは、大森東特別出張所にて、十月中旬ごろの配布を予定しています。日頃の健康づくりにぜひご利用ください！

防災への質問・不安解消コーナー



編集委員の防災に関する心配ごとを集めました。地域の防災訓練に参加したり、ハザードマップを確認したり、日ごろから家族やご近所さんと避難の方法を話し合い、「いざ!」に備えましょう。

【在宅避難に関する質問】

Q. 最近、「在宅避難（自宅で避難）」等の避難所以外への避難が推奨されています。でも、災害時は、避難所に行かないと心配です。

A. 「避難」とは「難」を「避」けることです。避難所は混雑が予想され、環境の変化により体調不良になる場合もあります。自宅等に災害リスクがない場合、在宅避難等が可能ですので、日頃から備蓄など準備しておきましょう。



Q. 在宅避難するために、日ごろから何を準備しておいたらいいですか。

A. 最低でも3日分の水や食料などを家庭に備蓄しておきましょう!

これだけは備蓄する

- ① 常温保存ができるもの
- ② 賞味期限がある程度長いもの

- 水（飲料水や調理用として1人1日3リットルが目安）
- 米（2キロの米は、1食=0.5合として27食になります。）
- 缶詰・レトルト食品（栄養バランスを考え、数日間食べても飽きがこないよう、数種類備えておきましょう）
- その他（アルファ化米、乾燥麺、カップ麺やチョコレートなどカロリーの高い菓子、梅干しや漬け物、みそやしょうゆなどの調味料など）



【避難所（学校防災活動拠点）に関する質問】

Q. どの避難所に行けばいいかわかりません。

A. 震災時の避難所等は、自治会のエリアにより指定されています。（下図参照） **自治会別一覧表**

| 自治会 | 一時集合場所 | 避難場所 | 避難所 | 津波一時避難施設（大森東管内） |
|-----------|--------------------------------|------------|-------------------|--------------------------------------|
| 大森東自治会 | ⓧ 中富小学校 ⓧ 潮見橋(旧呑川緑地) | ① 昭和島野球場一帯 | ⓧ 中富小学校 | 大森第四小学校 中富小学校 |
| 大森東四丁目自治会 | ⓧ 大森東中学校 ⓧ 大森東四丁目第二児童公園 | ① 昭和島野球場一帯 | ⓧ 大森東中学校 | 大森第一中学校 大森東中学校 |
| 川端自治会 | ⓧ 三輪嶋嶋(弁天)神社 ⓧ 大森東四丁目第二児童公園 | ① 昭和島野球場一帯 | ⓧ 大森東中学校 | 大森南二丁目アパート(区営住宅) 大森南五丁目アパート(区営住宅) |
| 大森南自治会 | ⓧ 大森第四小学校 | ⓧ 森ヶ崎公園 | ⓧ 大森第四小学校(※医療救護所) | 大森南四丁目工場アパート(テクノ FRONT 森ヶ崎) |
| 森ヶ崎自治会 | ⓧ 大森南四丁目公園 | ⓧ 森ヶ崎公園 | ⓧ 大森第一中学校 | |

なお、水害時は区立小中学校等89か所が避難先となります。（地区ごとの指定はございません。）

不明点は、大森東特別出張所へお問合せください。

Q. 避難所はいつ開きますか。誰が運営しているのですか。

A. 区内で震度5強の地震が発生し、区長が開設の必要があると判断した場合、もしくは各拠点の本部長（自治会長）が開設を判断した時のいずれかで開設します。

避難所は本部長を始め、学校長、自治会役員、区職員が中心に運営します。しかし、避難が長期に渡れば運営スタッフが足りなくなることが予想されます。避難された方も健康であれば一緒に運営に協力いただくと大変助かります。

Q. 障がい者がいます。避難所に受け入れてもらえますか。

A. 避難所には要配慮者に対応する「要配慮者支援担当職員」を配置します。受付でご心配な点をお話してください。

Q. 避難者がいっぱいになった場合、避難所に入れなくなると聞きました。本当ですか。

A. 地域の被害の程度や気象状況により判断します。近隣の避難所をご案内することがあります。

Q. 避難するときに避難所に持っていくと良いものを教えてください。

- A. 非常持出品(例)**
- ヘルメット・防災ずきん
 - 懐中電灯・ヘッドライト
 - 携帯ラジオ
 - 予備電池・充電器
 - 非常食
 - 水
 - 救急医療品、常備薬
 - 貴重品
 - 生活用品



本アプリは、地震や台風などの災害が発生した際に、大田区から発信する災害に関する情報を、すばやく手に入れることができる大田区公式防災アプリです。いざという時に備え、ぜひご利用ください。



いづつのお通信

「災害への備え」

森ヶ崎自治会 吉田敏勝

猛暑が続く日々です。コロナ禍になってから、地域の方と対面で接する機会が減りました。人生は何があるかわからない。だからこそ、日々近隣とのつながりが大事です。共に励まし合いながら、日頃の挨拶から始まり、対話を通して、地域住民に声をかけて防災パトロールや合同防災訓練への参加実施、協力をして参ります。

自然災害についても、八月、九月は台風が発生が多くなります。今後も豪雨、災害への備えを怠らないようにしたい。二人暮らしの我が家では、いつ遭遇するかわからない大災害。最長週間はしのげると思われる、水や食料を備蓄しています。



生活で一番困るのはトイレです。又、電気や水道が止まった時には、組み立て式トイレの活用とか、水洗いの場合、使い捨てのペットボトルに水をためて、保管して活用。併せて臭い消しも用意しておくとか、しっかりと備えをしております。

自宅も大雨シーズンに備えるために自然災害対策を心がけています。窓ガラスのひび割れ破損はないか、ベランダのゴミ

の詰まり、土のうの準備をして対策をしています。

今後、さらに地域住民の皆様と声をかけ合いながら防災に協力して参ります。

「災害」

大森南自治会 匿名

「天災は、忘れた頃にやってくる」と一昔前までは良く耳にしていましたが、近年は毎年の様にあちこちで大きな災害が起きています。異常気象のせいでしょうか。水害は日本中で起きています。大雨警報は気象庁の情報で状況を把握出来るので何とかな心の準備は出来ませんが、それでも大きな被害が起きています。だが地震は不意にやってくるから怖いのです。

京都大学の鎌田浩毅名誉教授は、南海トラフ大地震は必ず来ると言っています。自然災害、特に地震は不意打ちに來るから怖いので準備することが大切だと、国や自治体からの支援が七十二時間位かかるので三日分は自ら備えておくことが大切であると、ただ恐れているだけでなく「来るならば来い」と、今から準備しておけば被害は八割は減らせると、今日の生活を明日も続けると言う思いで災害に備えて下さい、と言っていました。

だが四十五年余りこの地域で暮らして来ましたが、幸いな事に大きな災害は経験がないので、内心気持ち緩んでしまっているのではないかと、災害のニュースを見てどこか他人事の様にしてしまう自分が怖いのです。



明日は我が身と思い反省しています。

我が家では、災害時に避難する時も、水害の場合と大地震の建物崩壊時の場合の避難は家族で話し合っておいて決めてあります。防災訓練も情報誌を読んでわかつたつもりでも、実際に参加して行動しなければ、いざとなったらパニックになるのであるべく参加した方が良いのではないかと考えています。だが、何がともあれ自分の命は自分で守ることが大事だと思っております。

「副会長への道」

大森東自治会 鈴木廣司

大森東自治会内に居住して、四十年になります。以前は自治会員の一人でしたが、元副会長の橋本淳様より理事にというお話を頂き、更に常任理事として、合わせて三十年程努めさせて頂きました。今年、前会長の福本健次様より、副会長にとのお話しが有り、お請けする事になりました。



今までも青少年対の一員として一緒に活動して来ましたが、これからも一所懸命がんばりますので、五自治会(いづつのおわ)の皆様にご協力、ご指導をいただきますようよろしくお願ひ致します。

「星たちへの願ひ事」

大森東自治会 福本かおる

自治会婦人部の活動のお手伝いをさせて頂き、今年で五年目になります。最初の二年間は右も左も分からず、ただただ

言われた事をやるだけでしたが、年間の活動もなんとなく理解し、これから頑張ろうという時に新型コロナの感染がはじまり、誰もが想像出来ない世の中になりました。自治会の活動はほとんどが中止となり、新型コロナの恐怖と人と会わない閉塞感から気持ちまでコロナに負けてしまっただけです。

このままではいけないと感じ、小さな喜びを見つけようと考えていました。ふるさとの浜辺公園に咲いている梅の花を見るために足を止めてみたり、空を見上げて雲の形に驚いたり、夕焼けを見ようと見晴らしばしに行つた時に、そこには、何とも言えない赤紫色の空が広がっていて、想像以上の美しさにとっても感動しました。多分、コロナが無かつたら普段はそのまま気にしないで通り過ぎてしまうような事ばかりでした。当たり前の生活が出来ることが慣れてしまい、感謝や感動する気持ちが薄くなつていた事に改めて気づきました。コロナ禍でも楽しめる事を探し、先日、花の種を植えました。秋になり花を咲かせるのをとても楽しみにしています。

九月には、婦人部で「敬老の日」の記念品配付の活動があります。感染防止に気を付けながら、少しの間ですが皆さんと色々お話をさせて頂き、毎年、素敵な笑顔と優しいお気持ちにいつも反対に元気をいただいています。今から皆さんとお会い出来るのをとても楽しみにしています。

今年の星たちへの願ひとして、「早く新型コロナの話がなくなり、みんな元気で楽しく過ごせますように」と願ひたいです。



「西表島への旅」
大森東四丁目自治会 須山芳明

令和三年七月世界自然遺産に奄美大島、徳之島、沖縄島北部および西表島が登録されました。そこで、平成八年に西表島に行った時のことを少し書きたいと思います。

大学の時の友人から、テナガエビの調査で西表島に行くので同行を依頼したいと連絡があり、理由を尋ねるとサキシマハブに噛まれたときに困るとの返事でした。親友の依頼を受け、同年七月二十三日に二人で羽田を発ち、那覇経由で石垣島に行き、船で一時間弱で西表島に着きました。

海の色はきれいな薄青色で、初めて見る色でした。川の水は澄みエビもよく見えました。このエビの名前はシヨキタテナガエビ（諸喜田先生が発見）と言います。台湾にもよく似たえびが生息し、台湾と西表島が分かれたのが百万年前と地質学上分かっており、この両種の遺伝情報解析することにより、遺伝研究の基礎となるそうです。

旅程の中で二日野営の日があり、絶えず二日程のアップダウンの道で疲れました。カンピレーの滝のさらに上流の第二山小屋の空き地に、テントを張り調査し、大きなエビを採取できました。次の調査は、島内深く川の源流近くを目指しましたが、エビは見つかりませんでした。自然が残る熱帯雨林気候の同島にはめずらしい動物があり、よく見かけたのが国指定天然記念物のヤエヤマセマルハコガメでした。それと、体長二十センチほどのイグアナに似ているサキシマキノボリトカゲを見かけました。標高の高い位置に大

きな沢ガニがいたり、リスに似たかわいい小さな動物を見ました。幸いサキシマハブには会わずに済み、海岸近くでよく見られるというイリオモテヤマネコには、会えませんでした。干潟には、横に歩かず前に歩くミナミコメツギガニの大量群落を、見る事ができました。興味深い旅を偶然することが出来ました。一瞬の出会いで一生の思い出です。



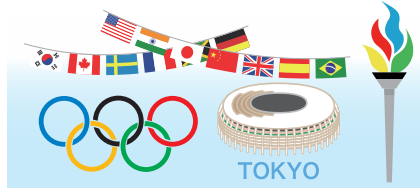
野生のラン（ナリヤラン）

「オリンピックボランティアまでの道のり」
川端自治会 熊川昌枝

オリンピック日本招致が決まったニュースを見ていたら、ボランティアを一般の人から多く募集するのを知りました。私もボランティアとして、参加できるチャンスがあるなら是非参加したいと強く思いました。

それから数年後やっと募集が始まりました。申し込みは、すべてインターネットで、スマホも買い換え募集にのぞみました。申し込み後、講習会が二度あり最後に面接がありました。コロナ前だったので、応募しても全員ボランティアができるわけでは無いので、面接時「他の人が気づかないシグナルに気付きます。」などと言って、私自身をアピールしました。その後半年経って、ボランティアに参加できることがメールで届き「やった」と声を出して喜びました。オリンピックの二〇二〇年のお正月に

オリンピックイヤーになったと思ったら、コロナウイルスが広まり開催が一年延期になってしまいました。コロナ禍で不安でしたが、やる気が無くなることもなく、一年後活動が始まりました。初めての活動は、オンライン会議で、自分の担当をその時知りました。担当は、表彰式プレゼンターエスコート役とわかりました。とても大役で世界中の人が見ると思うと緊張感が高まりました。担当の競技は、ホッケーとアーチェリーとメールで知りました。ボランティアの流れは、まず、IOCのプレゼンターの方とメダリストに表彰式のスケジュールを英語で説明してから、メダルやブーケを置く台を運び、その後、優雅にメダルとブーケを台まで運びメダリストとIOCの方を立ち位置に案内します。最後に、メダルとブーケを渡すタイミングをサインで案内して、終わったらはけるタイミングをサインで案内する流れでした。私の担当時、一番緊張したのは、IOCの方を案内する時でした。先頭が私、次にメダルを渡す方、ブーケを渡す方で優雅に立ち位置まで案内する時でした。ドキドキしましたが、大きなトラブルも無く無事に終わりました。コロナ禍でしたが、周りのスタッフには感染者も出ず、楽しい仲間とも知り合いなれて、とても緊張しましたが、今思えば楽しいボランティアでとてもいい思い出になりました。



受賞おめでとうございます

【令和四年度大田区自治会・町会正副会長大会二十年以上在職者感謝状】

福本 健次（大森東自治会）
（敬称略）

地域の行事

- ★いつつのわふれあい祭り
中止（十月二十三日（日））
- ★いつつのわ幸陽祭
中止（十一月十二日（土））

編集後記

このたび本紙の編集委員長となりました須山芳明と申します。大森東四丁目自治会の副会長を務めております。微力ながら本紙の歴史を汚さぬよう頑張りたいと存じます。

本紙は、これからも住民にとり重要な災害をテーマとする項目や従来よりの住民の方々の体験、地域を題材とするエッセイを掲載します。

まだまだコロナ禍は続きますが、皆様には感染に気をつけて元気で過ごされませう祈念します。

